



今この瞬間のつながりを大切に

校長

最後だとわかっていたなら

あなたが眠りにつくのをみるのが最後だとわかっていたら

わたしは もっとちゃんとカバーをかけて 神様にその魂を守ってくださるよう祈っただろう

あなたがドアを出て行くのをみるのが最後だとわかっていたら

わたしは あなたを抱きしめて キスをして そしてまたもう一度呼び寄せて 抱きしめただろう

～～～中略～～～

そして その人を愛していること いつでも いつまでも大切な存在だということを そっと伝えよう

「ごめんね」や「許してね」や「ありがとう」や「気にしないで」を伝える時を持とう

そうすれば もし明日が来ないとしても あなたは今日を後悔しないだろうから

ノーマ コネット マレック・作 佐川 睦・訳

この詩は米国人女性ノーマ コネット マレックさんが若くして水難事故で亡くなった息子さんに寄せて書いた詩「最後だとわかっていたなら」の一部分です。この詩を読むたびに、大切な人とのつながりの尊さについて深く考えさせられます。私たちは普段、「また明日会える」「今度ゆっくり話そう」と思いながら毎日を過ごしています。しかし、本当にその「明日」が必ずやって来る保証は誰にもありません。

熊本で大きな地震が発生し、多くの方々が被害を受けました。突然の揺れによって、当たり前だと思っていた日常が一瞬にして失われてしまう現実があります。また、先日は千葉県で記録的な豪雨による災害が起こり、尊い命が失われました。朝、「行ってきます」と家を出た人が、その日のうちに家族のもとへ帰ることができなかったという現実、決して他人事ではありません。

ある保護者の方がこんな話をしていました。

その日の朝は重要な会議があるため頭の中はその準備でいっぱいだったそうです。

玄関で靴を履いていると、「お母さん、今日ね…」と子供が声をかけてきました。しかし、「ごめん、帰ってから聞くね」と顔を向けることなく返事をして家を出てしまいました。

その日の夕方、仕事を終えて帰宅する途中、ふと朝の出来事を思い出しました。

「今朝は子供の話をちゃんと聞かなかったな。」「家族の顔もろくに見ないで出てきてしまったな。」そんなことを考えているうちに、もし自分が事故に遭ったり、家族に何かあったりして、あの朝が最後の別れになっていたらどうだっただろう、と急に怖くなったそうです。

幸い、その日は何事もなく家族と再会することができました。しかし、そのとき感じた思いは今でも忘れられないと言います。

それ以来、忙しい朝でも、家族の顔を見て「おはよう」と声をかけ、「行ってきます」「いつてらっしゃい」をきちんと言葉にするようになりました。そして、一日の終わりの「おやすみ」も大切にしているそうです。

何気ない一言は、小さな言葉かもしれませんが、その言葉が相手への思いや感謝を伝え、かけがえのない時間をつくっているのです。

私たちの周りにも、家族、友人、仲間、先生、地域の方々など、多くの人とのつながりがあります。しかし、その存在があまりにも身近であるために、つい当たり前のものだと思ってしまうことがあります。本当は、その人との出会いは奇跡のようなものであり、共に過ごす時間は決して無限ではありません。

だからこそ、今日の前にいる大切な人との時間を大事にしてほしいと思います。「ありがとう」「ごめんね」「頑張っているね」「大好きだよ」といった言葉を、照れずに伝えてほしいと思います。いつか伝えようではなく、今伝えることが大切です。

私たちは誰もが限られた時間の中で生きています。そのことを忘れず、一日一日を大切にしながら、今この瞬間に出会っている尊い人とのつながりを大切にしていきたいものです。

＜北多摩地区特別支援学校(仮称)開校に係る第1回学校説明会について＞

先日、お知らせを配布しましたとおり、下記日程で説明会を行います。

【日 時】令和8年10月7日（水） 午前10時から午前11時まで

【会 場】本校 視聴覚室（Microsoft Teams によるオンライン同時開催します。）

【主な対象】現在高等部1年生に在籍し、今後の学区変更の対象となる可能性が非常に高い学区(小平市の中島町、栄町、小川西町、小川東町、小川町、上水新町、たかの台、津田町、学園西町、上水本町、美園町、大沼町、仲町、学園東町)に在住している生徒の保護者様

＊上記以外の方も参加可能です。

該当する御家庭におかれましては、今後の学校生活や転学等に関する重要な説明を行いますので、ぜひ御出席くださいますようお願いいたします。

詳細は、9月7日配布のお知らせを御確認ください。

なお、当日配布する資料は、全家庭に配布いたします。

＜進路指導部より＞

◆〈日時〉10月5日（月） 午前10時00分から午前11時30時まで

〈会場〉本校体育館

〈内容〉『暮らしの場について～誰と・どこで・どう暮らす？～』

〈講師〉渡部 伸 氏（「親なきあと」相談室、渡部伸行政書士社労士事務所）

◆就業体験・実習・通勤練習時の連絡手段について

進路指導にて、校外で生徒が一人で活動をする際、連絡の取り方や公衆電話の使い方、困った時の対応の仕方について、御家庭でもあらかじめ御指導ください。

「交通系 IC カードのチャージが切れてしまった・失くしてしまった」「電車を間違えてしまった」など、予想外の事態になった時にどうしたらよいか、ぜひ御家庭でも話し合ってくださいと思います。過去には上記のような理由により居場所が分からなくなったり、予定されていた時間に帰宅できなかったりといった事例がありました。

生徒が安心して進路学習に取り組めるように、御協力をよろしくお願いいたします。

◆事業所情報

開所

生活介護事業所

事業所名：一般社団法人 ION ION 第 3 事業所

所在地：〒180-0012

武蔵野市緑町 1 - 1 - 17

アクセス：三鷹駅より徒歩 19 分

作業内容：利用者に合わせて用意する。その他、除草、農園、軽作業等

作業時間：9:00~16:00

※令和 8 年 9 月に開所しましたが、内装工事のため見学、実習は 10 月中旬以降の予定です。

見学、実習など御希望の際は、担任、進路にお問い合わせください。

閉所

就労継続支援 B 型事業所

事業所名：一般社団法人 つむぎ 就労継続支援 B 型事業 めーぷる

令和 8 年 9 月末で閉所しました。

<支援部より>

○都立田無高等学校文化祭への展示参加

9 月 11・12 日（金・土）都立田無高等学校文化祭に、本校生徒の美術作品を展示していただき、交流参加しました。生徒玄関ホールの壁面に展示した作品を来校者の方々に見ていただきました。今後も、地域との交流を深めていきたいと思いをします。

<生活指導部より>

○9 月 24 日（木）総合防災訓練

連休明けの木曜日、西東京消防署田無出張所、西東京市危機管理課、小金井公園に御協力をいただき、地域と連携した防災訓練を実施しました。今年は、起震車の体験を実施するなど、昨年以上に生徒の体験を重視した訓練となりました。災害時に、まず自分の安全を守ること「自助」についての講話や携帯用トイレの使い方、また緊急時には、新聞紙やペットシートなどを利用して水を吸い取り、トイレの代わりになるという実験も体験しました。近隣の 2 つの自治会からも御参加いただき、地域との連携をさらに深める訓練となりました。

<作業学習部より>

○9 月 25 日（金）ビジネスチャレンジ班 3 名が西東京市役所田無庁舎にて喫茶販売を行いました。2 年生の 2 名は初めての田無庁舎での販売に「緊張します！」とドキドキした様子でしたが、3 年生の 1 名は慣れた様子で後輩たちのサポートをしていました。今回もたくさんのお客様に来ていただき、貴重な経験を積むことができました。

